筑波山地域ジオパーク

筑波山地域ジオパーク推進協議会

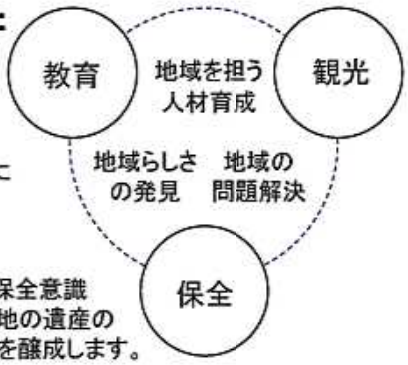
ジオパークとは？

- ジオパークとは，Geo＝地球や大地，Park＝公園を組み合わせた言葉で，貴重な地形・地質をはじめとした“大地の遺産”に親しむための自然公園のことです。
- ジオパークでは，大地をつくる地質・地形やその成り立ちから，大地が育む生物・生態系や人々の歴史・文化・産業まで，野外で楽しみながら学ぶことができます。
- ジオパークを通じて大地の遺産の学術的な価値を学び，その魅力を地域内外に発信することは，地域の保全や活性化につながります。
- ジオパークには日本ジオパークと世界ジオパークがあります。現在，国内43地域が日本ジオパークに認定され，そのうち8地域は世界ジオパークにも認定されています。2015年11月には，世界ジオパークがユネスコの正式事業になりました。

【ジオパークの基本理念】

筑波山地域ジオパークとは？

保全・教育・観光を3つの柱とした『みんなに愛される地域づくり』



●保全
大地の遺産（地質・地形，生物・生態系，歴史・文化・産業）の保護，継承や伝承に積極的に取り組みます。

●教育
大地とその成り立ちを学び，防災・環境保全意識の向上を目指します。また，共有する大地の遺産の価値と魅力を知り，地域への愛着と誇りを醸成します。

●観光
大地の遺産の価値や魅力を分かりやすく伝える“ジオツーリズム”を推進します。また，その推進に必要な広報活動，インフラ整備や特産品開発に取り組みます。

地域に必要なもの，大事なことに気づくための仕組みづくり

【筑波山地域ジオパークのエリア】

筑波山（標高877m）に代表される筑波山塊を取り囲む茨城県中南部の6市（石岡・笠間・つくば・桜川・土浦・かすみがうら）を含みます。

筑波山地域ジオパークの見どころ

● ダイナミックな大地の変動の歴史を刻む筑波山塊・鶏足（けいそく）山塊

● 過去の急激な海面変化がつくり出した霞ケ浦と関東平野

● 古気候や古環境を今に伝える社寺林の生物・生態系

● 大地と人との共生の中で生まれた歴史・文化・産業